

Medical Technology News

臨床検査室新聞

令和4年 年頭のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆さま、ご来院の皆さま、また職員の方々に日頃より当検査室に對してご協力、ご指導ご鞭撻を賜り心より御礼申し上げます。

さて、オミクロン株など新しい変異株が出現し未だ収束が見えない新型コロナウイルスですが、昨年はワクチン接種の開始、また治療薬研究もすすめられ確実に一歩ずつ終焉に向けて歩んできたのではないのでしょうか。

当検査室では新型コロナウイルスイルス検査法として抗原定性法、LAM法に次ぎ新たにPCR

法を導入し24時間対応を可能としてきたところです。

医療業界が混沌とする中、スポーツ業界では日本人の活躍がめざましく、またオリンピックも開催され、わたしたちにたくさんの勇気と元気を与えてくれました。

2021年に起きた嬉しい事はずっと心に、そして悲しいことは乗り越えて、来る2022年希望を持ち迎えたものです。

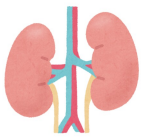
皆さまにとりまして幸多き一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。最後に、順天堂大学とは何のかかわりもございませんが、私の好きな言葉を紹介させていただき年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

LOOK 尿中微量アルブミン

アルブミンは血液中の蛋白質の60~70%を占める主成分です。尿中にはほとんど排出されませんが、腎臓の機能が低下すると尿中に排出されます。腎臓の状態を測定する上で、尿中蛋白質を測定する重要な検査項目です。尿中蛋白質が1g以上ある状態を蛋白尿、尿中蛋白質が0.3g以上ある状態を微量アルブミン尿と定義します。

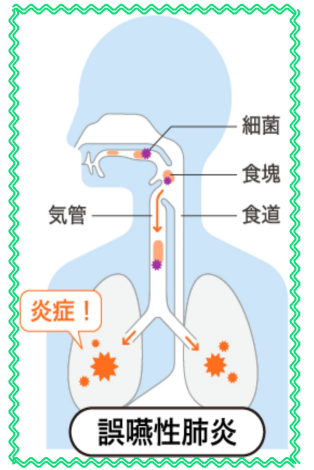
- 正常アルブミン尿...30mg/gCr未満
 - 微量アルブミン尿...30~299mg/gCr
 - 顕性アルブミン尿...300mg/gCr以上
- (持続性蛋白尿)
(高値となる疾患)
糖尿病性腎症、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、膀胱炎など

注) 糖尿病性腎症は、日量3回以上尿糖が確認されます。



チェック! 誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎とは、嚥下機能障害(物を飲み込む働き)の低下(のため唾液や食べもの、あるいは胃液などと一緒に細菌を気道に誤って吸引することにより発症します。



嚥下機能の低下した高齢者、脳梗塞後遺症やパーキンソン病などの神経疾患や寝たきりの患者に多く発生します。肺炎球菌や口腔内の常在菌である嫌気性菌が原因となることが多いとされています。

どんな症状が出るの? 発熱、咳、膿のような痰が肺炎の典型的な症状です。しかしこれらの症状がなく、なんとなく元気がない、食欲がない、のどがゴロゴロとなる、などの非典型的な症状のみがみられることが多いのが誤嚥性肺炎の特徴です。

どのように診断するの? 誤嚥が明らかでない場合、嚥下機能の低下が確認されている患者では胸部エックス線写真で肺炎像を確認することで診断できます。血液検査での白血球増加や炎症反応の亢進

血液検査での白血球増加や炎症反応の亢進

ほっと time

2022年の干支は「壬寅(みずのえ・とら)」です。壬には子供を宿す妊の一部であることから「はらむ」「生まれる」という意味があり、寅は「人の前に立つ」、や「延ばす、成長する」という意味があるそうです。二つを合わせると「生まれたものが成長する」と縁起が良くなりますね。

検査の基本 CRPについて

CRPは体内に急性の炎症や感染、組織の損傷があるときに、血液中に増えるタンパクの一種です。肺炎球菌のC多糖類と特異的に反応することからCRPと呼ばれてきましたが、肺炎以外の病(膠原病・肝疾患・心筋梗塞・腫瘍・感染症など)でも陽性を示します。急性期に出現し臨床経過に応じて変動するので、感染症の有無、活動性、経過、治療の判定に役立ちます。

も重要な所見です。 抗生薬を用いた薬物療法が基本です。呼吸状態や全身状態が不良場合は入院して治療を行う場合もあります。

※一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器の病気 参考

編集後記

今年の干支は寅です。干支占いで寅年生まれの人にはチャレンジ心がある・正義感があると言われています。当たっていますか? さて、本格的に雪が降り積もり、寒い日が続いています。暖かい服装で寒い冬を乗り越えましょう!

